

政策	11 豊かな自然環境の保全						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民、職員						
基本施策目的	地域の貴重な財産である豊かな自然環境が次世代に引き継がれる。 地球環境にやさしい循環型社会の形成が図られる。 市民一人ひとりによる自発的な環境活動が展開される。						
成果指標	環境保全施策に対する市民満足度 環境保全に取り組んでいる市民の割合						
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [ % ]	予定				65.00	
		実績					
	成果指標2 [ % ]	予定				100.00	
		実績					
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	2,205,196	0	0	0	0	
	実績	1,980,053	0	0	0	0	
内部評価	貢献度	環境の保全は市民の協力と参加が必要であり、本評価の指標である市民参加割合の達成は大きく貢献すると考えられる。					
	達成状況	成果指標の進捗は現段階では把握できないが、単位施策の達成状況が順調に推移しているため、目標達成は期待ができる。					
	課題	施設や人口の変化に伴い再度目標値の検討が必要である。また、環境の保全に関する事業の市民への周知が不足していると考えられる。					
	取組方針	自然環境の保全は市民の協力が必要であるため、市民への事業の周知を推進し、目標達成を目指す。					
外部評価	<p>ゴミの削減を図らずには施策目標の達成は難しいと感じる。ゴミの削減による経費削減の実現を併せて図ること。</p> <p>市民への普及啓発策として「栃木市エコデー」を制定し、自治会・学校・企業との協力により総ぐるみのゴミ拾い活動やマイバックイベント、エコカフェ（庁舎内の市民スペースなどでお茶を飲みながら環境に関する交流イベントや勉強会などを実施）といった取組みの実施は、2つの目標達成に大きく貢献すると思われるので検討願いたい。</p> <p>他の施策で実施している公園や道路の整備、除草などで、農薬の散布や季節性を無視した植物の伐採などが見られており、関係課には合理性だけでなく環境への配慮を求めていくことも必要である。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	1103	新エネルギーの推進				68,114	100
	1102	循環型社会の形成				8,870	90
	1101	環境の保全				1,903,069	85